



手分けして水田の環境整備に取り組む
生徒たち＝松崎町那賀

感謝込めて奉仕整備

特支松崎分校 花畑の草集める

観賞シーズンを終え、見学したばかりの松崎町那賀の「田んぼをつかった花畑」で8、9の両日、

県立東部特別支援学校

伊豆松崎分校（村本幸雄校長）の生徒が、ボランティアの環境整備

作業に取り組んだ。同所は5日まで、6

種の花が次々と咲く花畑として一般開放。今年も多く

民らが訪れ、見学したり無料の花摘みを楽しんだりした。作業は同校で進める地域での環境整備活動の一環で、毎年実施。初日は1～3年の19人が参加し、教員や仲間と協力して汗を流した。事前に刈り取られた草を熊手を使って寄せ集め、集積場に運んだ。生徒たちは散策

やスケッチなど、普段から学校に近い花畑に親しんでいて、同校は「地域や町への感謝として、今後も整備活動を継続していきたい」と話している。